甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2020年12月発行

今回の号外では、新年１月発行予定の「えがお16 号」には掲載していない内容をいち早くお知らせ致します。

【感染症対策と今後の学校教育について】

２０２０年第４回定例会（１２月議会）で、質問した内容は、以下の通りです。

①「スクールサポートスタッフ」
「学びのアシスタント」の配置状況
②支援事例と成果
③大分市独自の専門スタッフ等の配置
④「臨時休業」後の支援体制
⑤各種学校行事への対応
⑥「30人学級」の全学年への導入拡大と早期の段階的な導入

（注）③や⑥については、「えがお16号」に詳しく掲載。

④について、甲斐は・・・

感染者が確認された学校の「臨時休業」後の学校及び児童生徒への支援体制、とりわけ人権的なこと、差別や偏見が生じないための取り組みについて・・・質問をしました。

◎教育部教育監答弁（抜粋）

11 月に各学校に通知した「大分市立学校　新型コロナウイルス感染症対策と教育活動に関するガイドライン」の中で、日常の教育実践において、感染者、濃厚接触者等に対する差別や偏見を許さない取り組みの充実を求めている。今後とも、子どもへの指導はもとより、保護者や地域社会を含めた者会全体で意識が高められるよう人権・同和教育及び人権啓発をより一層充実させていきたい。

〔甲斐の思い〕スクールカウンセラーなどの臨時的な派遣を要望。

学校再開後に子どもたちが不安や悩みを抱えている場合が想定される。担任や養護教諭だけではなく、専門知識を持たれた方が待機し、すぐに相談できる体制を準備しておくことはとても大切なことだと思います。学校再開後の期間を決めての体制や学校からの要請に応じて早期に派遣できる体制でも構いません。このような体制を整えているから「大丈夫だよ、いつでも相談してね」と現段階から発信しておくことも、子どもたちにとっての安心感につながると思います。

☆バス停の上屋（屋根）やベンチの設置☆

※12 月議会では、「公共交通政策」も取り上げ、左画像にあるようなバス停の上屋やベンチの設置を推進する立場で質問、要望を行いました。今後とも公共交通を確保する取り組みを訴えます。

ベンチも設置された判田中学校前バス停の様子。

甲斐たかゆきは、これからもみなさんの声を聞き、ともに考え、取り組んでいきます。

1 子どもたちにゆきとどいた教育を!

子どもたちの笑顔があふれる学校を実現するために、施設・設備の充実、保護者負担の軽減、教育予算の拡充に取り組みます。

そのために、大分市での教育費の一般会計に対する割合を現在の９．３％から、まずは１０％程度に増加することを具体的内容とともに訴えていきます。

2 誰もが安心できるくらしを!

誰もが笑顔でくらすために、地域公共交通の確保や子育て支援など、福祉政策の充実に取り組みます。また、災害や感染症への対策を強化し市民の安心・安全の確保に取り組みます。

3 平和で民主的な社会を!

一人ひとりの笑顔がつながる地域づくりのために、市民の声が大切にされる平和で民主的な社会の実現に取り組みます。

甲斐たかゆき・連絡先
０９０－４９９１－６４１２

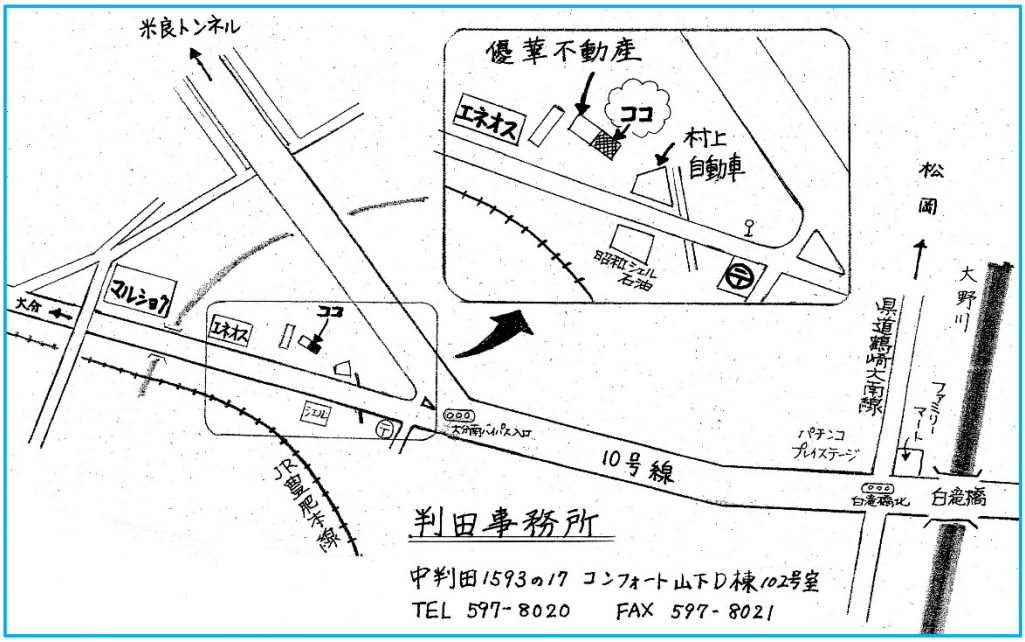
孫も３歳になりました(撮影時は１歳)。

☆後援会判田事務所を開設しました☆

2020年１２月６日(日)に「甲斐たかゆき」後援会判田事務所を開設いたしました。

当日は、感染症拡大防止のために人数を制限して、事務所開きを行いました。ご案内が行き届かなかったみなさまにはお詫び申し上げます。ご理解ください。

今後とも手指消毒液を常備するとともに換気や湿度の調整を行うなど、感染症対策を行いながら、運営して参ります。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。当面は、時間帯が限られた開所となりますこともご理解ください。ご相談事案にも随時対応していきます。



「甲斐たかゆき」の活動や議会での様子がわかるように、資料なども準備しています。

なお、「甲斐たかゆき後援会」への加入も受け付け中です。ご加入よろしくお願いいたします。